

激動の中東と我々の未来 ——社会科学で見通す日本の安全保障と中東、難民、テロ——

主催：宇都宮大学国際学部、科学研究費補助金に基づく研究プロジェクト（「民衆運動と移民が湾岸諸国の君主体制に及ぼす影響の動態的研究」（代表：松尾昌樹））

日時：2016年1月21日（木） 12:30 開場 12:50 開演

場所：宇都宮大学 峰キャンパス大学会館多目的ホール
栃木県宇都宮市峰町 350
（事前登録は不要です）

講演者（講演順）：

浜中新吾 山形大学准教授。専門は比較政治学および計量政治学。主な著書に、『パレスチナの政治文化—民主化途上地域への計量的アプローチ』（大学教育出版）、『選挙と民主主義』（共著、吉田書店）など。

高岡豊 中東調査会上席研究員。著書に、『現代シリアの部族と政治・社会—ユーフラテス河沿岸地域・ジャジーラ地域の部族の政治・社会的役割分析』（三元社）、『イスラーム国の生態がわかる 45 のキーワード』（共著、明石書店）など。TBS NEWS23、サンデーモーニング等テレビ出演多数。

溝渕正季 名古屋商科大学専任講師。専門は国際政治。主な著書に、『ヒズブッラー 革命と抵抗の思想』（現代思想新社、高岡豊氏との共著）、『現代中東の国家・権力・政治』（ロジャー・オーウェン著、山尾大氏との共訳、明石書店）など。

松尾昌樹（司会）宇都宮大学准教授。専門は中東地域研究。著書に、『湾岸産油国 レンティア国家のゆくえ』（講談社）、『オマーンの国史の誕生 オマーンの国史の誕生—オマーン人と英植民地官僚によるオマーン史表象』（御茶の水書房）など。

プログラム（講演時間には質疑が含まれます）

12:50～13:00

松尾昌樹（宇都宮大学） 趣旨説明「我々は中東といかに関わってゆくのか」

13:00～14:20

浜中新吾（山形大学）「社会科学者が眺める中東—中東情勢を見通すりテラシーはこれだ」

14:30～16:00

高岡豊（中東調査会）「シリア難民の受け入れを考える—難民は潜在的なテロの脅威か？」

16:10～17:20

溝渕正季（名古屋商科大学）「グローバル・ジハード主義勢力と日本の安全保障—安保法制でなにが変わる（あるいは変わらない）のか？」

17:20～17:50

総合ディスカッション